



日頃の感謝を伝えよう！児童会「感謝のつどい」

2月6日(金)、児童会主催の「感謝の集い」が実施されます。今年度も登下校の見守りや放課後学習、校外学習サポートなど様々な場面で地域ボランティアの方に学習活動を支えていただきました。感謝の集いを前に、代表委員会では「日ごろからボランティアさんに感謝を伝えるにはどうすればいいか考えよう」と話し合っていました。感謝の気持ちを伝えるために、今、自分達に何ができるのかを考えようとする姿に成長を感じます。2月号では、今年度お世話になった4つの学校支援活動をお伝えします。

～6年家庭科「おさかな調理ボランティア」～

「おさかな講習会」(兵庫漁連協力)で生魚を三枚おろしに調理する学習をしました。ほとんどの児童が生魚の調理が初めてでしたが、地域ボランティアの方の支援のもとで、安全に、一人一尾の調理を行うことができました。



生魚(あじ)を調理する6年生

～6年図工「木工ボランティア」～

6年生の卒業制作で、2学期から地域ボランティアの方に児童の安全な学習を支えていただきました。のこぎりや電動系のこぎりを使って板を切る作業や様々な道具を扱う学習があります。一枚の板から作りたい作品を完成させることができました。



工作に取り組む6年生

～4年「そろばんボランティア」～

4年生算数「そろばん」の学習では、児童が慣れない「そろばん」を手に、珠を操作しながら学習しました。たくさんの地域ボランティアの方の支援を受け、基本的なそろばんを使った計算ができるようになりました。



慣れないそろばんに向き合う4年生

～クラブ活動「柿とりボランティア」～

4～6年で進めるクラブ活動のひとつ「野外活動クラブ」が校庭での柿とりの計画を立てました。地域ボランティアの方の協力のもと、昔ながらの方法で柿とりができました。

三田ゆかりの叙情詩人 三好達治の「池のほとりに柿木あり」の詩は、幼少期を過ごした三田小の柿の木を想起したものとされています。三田小の歴史と伝統を感じる柿とり体験ができました。



校庭で柿とりする野外活動クラブ

よりよい「スマイルタイム」にしていくために！

今年度の新たな取組に縦割り班(27班)で進める「スマイルタイム」(児童会活動)があります。1～6年生約20人で活動班をつくり、集団遊びなどを行います。登校班や地域の公園で異年齢の子と一緒に遊ぶ姿は日常の光景です。しかし、これまで関わったことがない学年の子と一緒に活動することは難しく、様々な問題が起こっていました。

そこで、6年生は、「みんなが楽しめるスマイルタイムにしていくために」をテーマに、各学級で話し合い活動(学級活動)を進めました。

【これまでのスマイルタイムで困ったこと】

- ・ どう接していいかわからない ・ 仲良くなれない
- ・ 同じ学年で話をしていて、一緒に遊ぼうとしない
- ・ 6年生は1年生にしか関わっていないから2～5年生が楽しめているのか心配
- ・ 6年生にやらされている感じがする
- ・ 誰かに任せきりになっている

【自分にできること】

- ・ やりたいことアンケートをとってみる
- ・ みんなで話せる話題提供をしてみる
- ・ 小さな学年の子の感想を聞いている
- ・ テンションを上げて話しかけてみる
- ・ 勇気を出して、自分から声をかけてみる

「困ったことが起ったのは何が原因なのだろう？」最初は下学年のことはばかりに目が向いていましたが、次第に「自分達にできることがあったはず」と考えていきました。最後は「よりよいスマイルタイムにしていくために」と一人一人が自分の目標を決めていました。

1月のスマイルタイムの日、教室ではフルーツバスケットや紙飛行機大会、運動場では大縄跳びやボール遊びなどが進んでいました。そこには、6年生が積極的に声をかけ、笑顔で接する姿がありました。異学年の交流が、高学年に責任感や主体性を育み、リーダーを経験する機会になっています。



高学年がリーダーとなり、班で決めた遊びを進める子ども達

《2月の主な学校行事予定》

日	曜	行 事	日	曜	行 事
2	月	なわとび大会(全学年)	17	火	3年生福祉学習「アイマスク体験」
3	火	八景中出前授業(6年)	18	水	児童朝会 委員会活動(5・6年) PTA家庭教育学級(給食試食会・三田小歴史学習)
4	水	全校朝会	19	木	助産師講習会(5年) PTA家庭教育学級(予定) スマイルタイム(児童会)
5	木	放課後学習(1～3年希望者)	20	金	新旧地区委員会
6	金	感謝の集い(児童会行事) 3年福祉学習「ハッピースマイルプロジェクト」	24	火	1年生園所交流(1年学習見学)
12	木	校内図工展(児童鑑賞日) SCによる心の学習会(6年) 代表委員会	25	水	全校朝会 クラブ活動(4～6年)
13	金	オープンスクール 校内図工展 4年防災学習「みんなを守るみんなの会！」	26	木	ひまわり学習発表会(ひまわり各教室)
16	月	短縮授業日(職員会議・研修の為) 全校下校 14:00	27	金	教職員授業研修会の為 全校下校 14:25

○17日の3年生の学習は、外出介助ボランティア「かけはし」のご指導で行います。

○19日の5年生の学習は、公益財団法人「小さいのちのドア」のご指導により行います。

総合的な学習の時間の学びを地域に発信！

3年生福祉学習「ハッピースマイルプロジェクト」

学校だより11月号でお伝えしました3年生福祉学習は、「高齢者の方が幸せで笑顔になれること」を活動の軸として、様々な立場の方のお話を聞き、学習してきました。

2月6日(金)午後には、三田の町の高齢者の方などを学校に招待し、幸せを届ける集会「ハッピースマイルプロジェクト」を行うことにしています。2学期に訪問する予定だった「サンヒルズ八景」、「トークゆうゆう」、「小規模多機能三田」の利用者の方など約30人が来校くださる予定です。

内容は、3年生が自分達で決めたゲームを一緒に行い、歌を歌い、プレゼントを渡すことにしています。司会進行もあいさつも子ども達が行う手作りの会です。三田の町の人に幸せが届く学習になることを願っています。



三田の町に出かけ花を届ける3年生

4年生防災学習「みんなを守るみんなの会!4年生防災イベント」

4年生は、9月の「人と防災未来センター」への校外学習から、自分達が暮らす三田の町の防災に目を向け、地域ボランティアの方とのフィールドワークや調べ学習を進めてきました。

1月には、三田防災リーダーの方に自分達の学びを聞いてもらい、伝える内容や伝え方の指導を受けてきました。

2月13日(金)オープンスクールの日には、災害から命を守るための学びを地域の方や保護者の方に伝えていきます。多くの方の協力のもと、自分や周りの人の命を一つでも多く守りたいと願い、学習を進めてきました。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

【タイムスケジュール】 2月13日(金) 10:25~11:15

【会場】 4年松組 4年竹組 4年梅組 体育館 の4会場に分かれて実施します



三田防災リーダーの前で発表する4年生

三田小の歴史を学びませんか？

2月18日(月)、しちようサソ会主催で第2回家庭教育学級が予定されています。今回は、学校給食の試食と校長室の床下にある「かまど跡」の見学・説明です。

6年生の卒業前のかまど跡見学は長く続く三田小の恒例行事です。今回は床下のかまど跡に入らせていただくことになり

ます。説明や指導は、NPO法人歴史文化財ネットワークさんだの方をお願いしています。本校の子ども達が卒業までに体験する学校の歴史学習を保護者の方にも体験いただく機会となります。ご参加お待ちしております。



校長室で三田小の歴史を学ぶ6年生

令和7年度全国学力・学習状況調査 三田市の結果概要

令和7年4月、6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。三田市の子どもの学力の定着状況は「良好」でした。教科別での本市の傾向と学びのポイントや三田の子どもたちの学習や生活に対する意識・実態についてまとめた資料を教育委員会ホームページで公開しています。【三田市のHPから→[zemkokuR7.pdf](#)】

三田小児童の学習や生活に対する意識・実態について

【国語】<特徴的な成果や課題> ○成果 ●課題 ◆取組の方針

- 「話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができる」を問う問題で正答率が高く、思考・判断・表現における話すこと・聞くことの定着が見られました。
- 「書くこと」領域に課題があり、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わる書き表し方を工夫することに課題が見られました。
- ◆問いの意図を正しく読み取り根拠を明確に示して書く力を育成するため、思考が可視化できるような教科を横断して様々な書く活動を取り入れます。また、キーワードを使ってめあてに沿って振り返りを書く活動を継続していきます。

【算数】<特徴的な成果や課題> ○成果 ●課題 ◆取組の方針

- 分数の計算や角度を求めることなど基礎的、基本的な計算に定着が見られました。
- 定義や概念をもとに考える力や、図形分野の作図、多角形についての知識・技能の定着に課題が見られました。
- ◆図形領域について、局所的なものの見方をするのではなく、平面、空間全体を俯瞰視できるようなタブレットのアプリなどの活用を進めていきます。また、教員の一方的な指導にならないよう子ども同士の対話を重視し、考え方を言語化する機会を増やしていきます。

【理科】<特徴的な成果や課題> ○成果 ●課題 ◆取組の方針

- 植物の観察に関する問題の正答率が高く、5年生植物での体験を伴った学習の理解定着が高かったことが見られました。
- 乾電池の直列つなぎ、並列つなぎの問題や、電磁石の問題などで、過去に学習した内容を忘れてしまっている児童が多くいることがわかりました。
- ◆デジタルドリルなどを活用し、下学年の理科の学習を振り返るとともに、現在の学習と前学年での学習を関連付けながら授業を進めていきます。

【質問紙調査から】<特徴的な成果や課題> ○成果 ●課題 ◆取組の方針

- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」で、「当てはまる」が全国平均より16%多い結果となりました。また、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」で、「思う」が全国平均より9%多い結果となりました。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」で、「あまりしていない」が、全国平均より11%多い結果となりました。また、「読書は好きですか」で、否定的な回答が全国平均より7%多い結果となりました。
- ◆スマホやタブレット利用の約束と保健の授業等で睡眠の大切さの学習を進めます。読書機会の確保として家庭読書の日や図書室を授業で活用できるように単元構成を工夫します。